

(5) 成果育成促進会議の実績(様式4)

成果育成促進会議の実績

1	平成11年度	開催日時: 平成11年8月24日 13:30~15:30	開催場所: 札幌市中央区北1条西6丁目 札幌ガーデンパレスホテル
出席者	富田房男(北大副学長) 山田家正(小樽商科大学長) 田頭博昭(室蘭工科大学長) 久保嘉治(帯畜大学長) 曾良達生(工業技術院道研究所長) 庄村 裕(道経連副会長) 戸谷一夫(科技厅研究基盤課長) 足立慎一郎(科技厅研究基盤課主査) 大味一夫(JST技術展開部長) 本田寛(JST特許化支援課長) 清原登志夫(北海道科学技術振興課長) 橋本真明(北海道科技課研究基盤係長) 有江幹男(当財団理事長) 中川 修(同副理事長) 戸倉清一(アドバイザー) 内田直也(同) 服部裕之(同) 市村一志(同) 古賀卓哉(同) 早川和延(プロジェクトコーディネータ) 丸山敏彦(同) 西岡純二(同) 外5人 合計27人		
議題	協議会(コラボレーション・パートナーシップ会議)の設置について 平成11年度事業方針について		
結論	研究成果の調査・収集方法等について協議し、効果的にRSP事業を図ることを目的として、大学の学部長、地域共同研究センター長、国公立研究機関の役職者、団体の役員を委員として設置することが承認された。 提案された事業方針案通り承認された。		
2	平成11年度	開催日時: 平成11年12月13日 13:00~14:30	開催場所: 札幌市中央区北4条西4丁目 札幌東急ホテル
出席者	富田房男 山田家正 厚谷郁夫(北見工科大学長) 久保嘉治 柴田卓二 西山恒夫(北海道東海大学長) 緒方直哉(千歳科学技術大学長) 曾良達生 庄村 裕 清原登志夫 金山武史(科技厅基盤研究科室長補佐) 吉岡紀雄(JST事務参事) 橋本真明 有江幹男 中川 修 宮崎保(プロジェクトコーディネータ) 早川和延 丸山敏彦 西岡純二 内田直哉 服部裕之 市村一志 古賀卓哉 外6人合計29人		
議題	平成11年度北海道研究成果育成計画書(案)について 研究会の設置について		
結論	提案された6課題「自然氷の潜熱を利用した冷房システムの開発」「農水産加工副産物の乾燥微粉碎処理物を利用した機能性素材・複合食品などの開発」「電解プロセスによるTiAl合金の高耐食性皮膜技術の開発」「非晶質アルミノ珪酸塩を原料とする高機能性建材の開発」「農水産素材・副産物の非熱プロセスによる脱水・乾燥技術の開発」「数学・理科のネットワーク型電子教材の開発」が採択された。 RSP事業における研究テーマが各領域別に広範囲・多岐にわたるため、プロジェクトコーディネータを中心として、産学官の関係者での研究会の設置が承認された。		
3	平成11年度	開催日時: 平成12年1月12日 14:00~16:00	開催場所: 札幌市中央区北3条西7丁目 フジヤサントスホテル
出席者	山田家正 田頭博昭 厚谷郁夫 久保嘉治 西山恒夫 曾良達生 庄村 裕 板垣義昭(北海道科学技術振興課長) 井上直政(JST特許化支援課長代理) 橋本真明 有江幹男 中川修 宮崎保 早川和延 丸山敏彦 西岡純二 外7人合計23人		
議題	「緊急共同研究プロジェクト」の提案テーマ(案)について 「戦略的権利化プログラム事業」の提案テーマ(案)について		

結論	<p>テーマ(案)「超微量発現性情報伝達系遺伝子解析による環境汚染評価技術及び生物機能の高度利用による環境修復技術の開発」          テ - マ(案)「農産物系廃棄物/ニュープロセスによる高度利用技術の開発」と「聴覚障害者用音声認識補助装置の研究開発」          上記のテーマの申請が採択された。</p>		
4	平成11年度	開催日時: 平成12年3月22日 16:30~18:00	開催場所: 札幌市中央区北4条西4丁目札幌東急ホテル
出席者	<p>富田房男 厚谷郁夫 柴田拓二 西山恒夫 緒方直哉(千歳科学技術大学長) 庄村裕 井上直政 橋本真明 有江幹男 中川修 宮崎保 早川和延 丸山敏彦 西岡純二 外8人合計22人</p>		
議題	平成12年度業務実施計画(案)について		
結論	業務実施計画について提案通り承認された。		
5	平成12年度	開催日時: 平成12年7月13日 13:30~15:30	開催場所: 札幌市中央区北1条西6丁目札幌ガーデンパレスホテル
出席者	<p>富田房男 山田家正 田頭博昭 厚谷郁夫 柴田拓二 西山恒夫 緒方直也 清原登志夫 庄村裕 藤川昇(JST技術展開部長) 本田寛(JST特許化支援課長) 遠藤洋(北海道科学技術振興課主査) 有江幹男 中川修 高尾彰一(プロジェクトコーディネータ) 早川和延 丸山敏彦 西岡純二 外6人合計24人</p>		
議題	平成12年度研究成果育成計画(案)について		
結論	<p>提案された6課題「インターネット利用型中学高校数学教育システムの技術開発と地域ネットワークサービス事業育成・実証試験」「オホーツク地域特産の農水産物を用いた新しい加工食品の開発」「ばれいしょ澱粉工場廃液からの新規機能性食材の開発」「環境・リサイクル用旋回気泡噴流式攪拌高速処理技術」「自然冷熱を利用した換気冷房の開発」「高齢者用胸・腰部コルセットの開発」が採択された。</p>		
6	平成12年度	開催日時: 平成12年11月27日 13:30~15:30	開催場所: 札幌市中央区北1条西6丁目札幌ガーデンパレスホテル
出席者	<p>山田家正 厚谷郁夫 柴田拓二 場谷常八(北海道科学技術振興課課長補佐) 曾良達生 高尾彰一 早川和延 丸山敏彦 西岡純二 武田正之(JST主任調査員) 有江幹男 中川修 外6人合計18人</p>		
議題	平成12年度北海道研究成果育成計画 追加課題(案)について		
結論	<p>育成試験追加課題として「光ファイバー歪みセンサによる構造物形状監視システムの開発」及び「農水産物・加工副産物の新規プロセスによる機能性粉末食材製造技術の実用化研究」の2課題が採択された。</p>		
7	平成13年度	開催日時: 平成13年4月23日 13:30~15:30	開催場所: 札幌市中央区北4条西4丁目札幌東急ホテル
出席者	<p>山田家正 田頭博昭 厚谷郁夫 柴田拓二 光澤舜明(北海道東海大学長) 緒方直哉 岡田一憲(北海道科学技術振興課長) 栗山博(産業技術総合研究所長) 庄村裕 丸山敏彦 齋藤善一(科学技術コーディネータ) 早川和延 西岡純二 山下篤也(JST地域事業推進室主査) 遠藤達也(JST地域事業推進室調査員) 関直樹(北海道科学技術振興課課長補佐) 松本和久(北海道科学技術振興課主査) 有江幹男 石谷捷二(当財団副理事長) 外6人合計25人</p>		
議題	<p>コラボレーション・パートナーシップ会議の廃止について          平成13年度 業務実施計画書の変更について          平成13年度 研究成果育成計画(案)について</p>		

結論	<p>RSP事業の効果的な推進を図ることを目的に平成11年7月に設置された当会議は、科学技術コーディネータ及びアドバイザーの活動によりその目的が達成されると判断され、当会議を廃止することが承認された。</p> <p>コラボレーション・パートナーシップ会議の廃止に伴い、業務実施計画書の関連部分の変更をする事について承認された。</p> <p>平成13年度 研究成果育成計画について、「農水産物加工廃棄物の高品質原料化前処理技術」「水産加工廃棄物からの新規食材の開発」「野草海藻類を利用した高級魚介類用餌料の開発」「マイタケからの新酵素による食肉軟化」と食味改善に関する研究」「インターネットにおける情報利用支援のための基盤ソフトウェアの開発」「放電プラズマを用いたベンゼンの分解技術開発」の6課題が採択された。</p>		
8	平成13年度	開催日時: 平成13年12月18日 13:30～15:30	開催場所: 札幌市中央区北1条西6丁目 ホテル札幌ガーデンパレス
出席者	<p>藤田正一(北海道大学副学長) 山田家正 田頭博昭 厚谷郁夫 柴田拓二 光澤舜明 緒方直哉 岡田一憲 栗山博 井上一郎(北海道経済連合会常任理事) 丸山敏彦 齋藤善一 西岡純二 齋藤太一(JST地域事業推進室調査員) 有江幹男 石谷捷二 外7人 合計23人</p>		
議題	<p>RSP事業の今後の取り組みについて 研究成果活用プラザ事業について</p>		
結論	<p>北海道の科学技術政策に基づく推進協議会有り、ノーステック財団が中核になって地域ニーズ・シーズ情報の一元化、ネットワーク型コーディネート機能、キーパーソンネットワーク構築(この中にRSP・コラボほっかいどうが入る)、各大学の科研がこの中に入るようなネットワークを作っていくことが必要との丸山コーディネータの説明が了承された。</p> <p>12月20日頃北海道工業試験場の隣接地に設置予定の「研究成果活用プラザ」の概要及び目的として、「地域産学官の交流の場であること」「研究成果の育成・活用 実用化」「諸事業との連携」のため、RSP事業で収集した研究情報を提供し、プラザ事業に繋げていくこと、科学技術コーディネーターがプラザ事業のコーディネータを兼務することなどを説明し了承された。</p>		
9	平成13年度	開催日時: 平成14年3月4日 13:30～15:30	開催場所: 札幌市北区北8条西4丁目 札幌アспенホテル
出席者	<p>山田家正 田頭博昭 厚谷郁夫 鈴木直義(帯広畜産大学学長) 緒方直哉 岡田一憲 栗山博 井上一郎 丸山敏彦 齋藤善一 西岡純二 端山隆三(JST地域事業推進室主任調査員) 有江幹男 石谷捷二 外10人合計24人</p>		
議題	<p>平成14年度 業務実施計画書(案)について 平成14年度 育成試験の候補テーマについて</p>		
結論	<p>平成14年度の方針として、「大学等との連携方策」「科学技術コーディネータの活動」「財団及び道の支援」「研究成果の育成・活用」について説明し、承認された。</p> <p>候補テーマ22課題について説明、平成14年度の育成試験テーマはこの中から選定し、次回促進会議で提案することで了承された。</p>		
10	平成14年度	開催日時: 平成14年5月17日 13:30～15:30	開催場所: 札幌市北区北21条西12丁目 北海道産学官協働センター
出席者	<p>藤田正一 秋山義昭(小樽商大学長) 常本秀幸(北見工大学長) 鈴木直義 柴田拓二 雀部博之(千歳科学技術大学学長) 岡田一憲 栗山博 丸山敏彦 齋藤善一 齋藤太一 有江幹男 石谷捷二 外6人合計19人</p>		
議題	<p>平成14年度 研究成果育成計画(案)について</p>		

結論	平成14年度研究成果育成計画について、「ホタテ外套膜を利用した機能性食品の開発」「野草・海藻類を利用した高級魚介類餌料の開発」「バイオガスのクリーン・高純度化技術の開発」「肉骨分の炭化処理及び高度利用技術の開発」「海洋生物から抽出する天然由来の高機能性抗菌・忌避材料の開発」「糖尿病予防新素材の実用化開発」		
11	平成14年度	開催日時: 平成15年3月26日 13:30～15:30	開催場所: 札幌市北区北8条西4丁目 札幌アспенホテル
出席者	藤田正一 田頭博昭 柴田拓二 光澤舜明 雀部邦彦 岡田一憲 栗山博 井上一郎 丸山敏彦 齋藤善一 山名芳隆(JST地域推進室主任調査員) 有江幹男 石谷捷二 外5人 合計18人		
議題	平成15年度育成試験の候補テーマについて		
結論	候補テーマ20課題について説明、平成15年度の育成試験テーマについてはこの中から選定し、次回促進会議に提案することで了承された。		
12	平成15年度	開催日時: 平成15年5月13日 13:00～15:00	開催場所: 札幌市中央区北8条西4丁目 札幌アспенホテル
出席者	長田義仁(北大副学長) 常本秀幸 柴田拓二 光澤舜明 岡田一憲 吉田忠(産業総合研究所長) 井上一郎 丸山敏彦 齋藤善一 山名芳隆 有江幹男 石谷捷二 外6人 合計18人		
議題	平成15年度 研究成果育成計画(案)について		
結論	平成15年度研究成果育成計画については、「農業地域汚染地下水の高速浄化システムの開発」「難処理性水産系廃棄物の有効利用技術」「有機系廃棄物のバイオガス化新処理技術の開発」「肉骨粉加熱処理物の量産化及び高度利用技術」「農水産系微粉末食材の複合造粒物を利用した新規機能性食品加工技術の開発」「道産食材を利用した健康商品の開発」の6課題が採択された。		
13	平成15年度	開催日時: 平成16年2月22日 13:30～15:30	開催場所: 札幌市北区北24条西4丁目 札幌サンプラザホテル
出席者	常本秀幸 柴田拓二 光澤舜明 雀部博之 佐藤克司(北海道科学技術振興課長) 吉田忠 井上一郎 田口康(文部科学省基盤整備課文部科学事務官) 丸山敏雄 齋藤善一 有江幹男 石谷捷二 外6人 合計18人		
議題	報告事項		
結論	平成15年度活動報告、平成15年度育成試験について、RSP事業のまとめについては、高橋常務理事及び丸山・齋藤コーディネータより報告され、北海道における今後の取り組みについては、北海道科学技術振興課 佐藤課長より報告がなされた。		